



お元気ですか！
志村 たかよしです

第812号 2016年10月30日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
 電話 3546-5563
 FAX 3546-9570

区長が都議の後援会旅行に出席するため 伊香保温泉への公用車使用は許されるのか

区側は「問題ない」と強弁するが…

先月発売の写真週刊誌に、矢田区長が今年3月に公用車を使って都議の旅行会が開かれた伊香保温泉に行ったことなど、不透明な公用車利用の記事が掲載されました。

「運転日誌」を入手し調査

党区議団は、伊香保温泉への公用車利用を確認するため、「運転日誌」（左）を入手しました。確かに、平成28年3月5日（土）

運転日誌

車種	乗用車・ワゴン・マイクロバス		
運転者	内野 泰祐		
運転年月日	28年3月5日(土)		
使用者名	使用時間	行先	目的
区長	13:30 ~ 22:30	区~新富~伊香保温泉 -新富-区	



13時30分、区へ新富へ伊香保温泉と記入されていますが、「目的」の欄は未記入でした。

「公務じゃない」と区長

記事のなかで区長は「都議の後援会の旅行会。公務じゃない。ガソリン代、人件費は出した」と答えており、「公務ではなかった」という認識を示しています。

「転じて「公務だった」と答弁

しかし、決算特別委員会で小栗智恵子議員が、区長が「公務じゃない」と発言したことは事実なのか確認したところ、区長は「公務だから公用車で行った。まちがつて答えてしまったことをおわびする」と述べ、区側も「公務なので問題ない」と答弁しました。

後援会参加は「公務」なのか

後援会は、選挙活動を行う組織

であり、町会など一般の団体とはちがいます。

区民の税金で運用されている公用車で、後援会旅行に出席するため温泉地にまで行くことも「公務」といえるのでしょうか。

「運転日誌」には、別の日に調布市に行ったことも記入されていたため、「目的は何だったのか」と聞きましたが、区長から明快な答えは聞けませんでした。

小栗議員は、舛添前都知事が公用車で目黒区長選の応援に行ったことなど、公私混同が批判されて辞任したことも示し、公用車を選挙活動や私的な外出に使うことはやめるよう強く求めました。

すべての「目的欄」が未記入

運転日誌を調べてみると「目的」欄はどのページも未記入でした。これでは、区長が何を目的として公用車を使用したのかわかりません。

日誌の項目になっている「目的」を記入するよう求めましたが、区は同意しませんでした。

重ねた調査 “闇” 暴く

跡 豊洲 追 新市場

崩れた「安全神話」

③

「舛添都知事の追及に続き、豊洲市場の闇への切り込み調査はあっぱれです」。日本共産党東京都議団（吉田信夫団長、17人）に激励や期待の声が相次いでいます。

今回、土壌汚染対策の重大な「闇」を白日のもとにさらした背景には、共産党都議団の粘り強い調査と追及の積み重ねがありました。

有害物質が浸透

豊洲新市場予定地は、1

956〜88年にかけて東京ガスの工場が操業し、石炭から都市ガスを製造する過程で排出されたベンゼン、シアン化合物、ヒ素などの有害物質が土壌や地下水にしみ込んでいました。

石原慎太郎知事（当時）は2001年、それまで進めてきた築地市場の再整備計画を放棄し、東京ガスから、土壌汚染された豊洲工場跡地を購入して移転する方針を強引に決定。深刻な土壌汚染が明らかになって



都職員の内、環境基準の4万3千倍のベンゼンが検出された東京ガス工場跡地を調査する日本共産党都議団は2008年5月8日、東京都江東区

危険性を告発しました。

08年には豊洲予定地の土壌から、環境基準の4万3000倍もの発がん性物質ベンゼンや、検出されてはならないシアン化合物が基準の930倍の高濃度で検出され、ヒ素、水銀なども見つかりました。

3・11で液状化

11年3月11日の東日本大震災では、豊洲予定地の108カ所で液状化現象が発生。曾根氏の警告が現実のものになりました。

共産党は直ちに現地調査を行い、液状化による噴砂現象を確認。液状化と土壌汚染の全面調査、移転中止を都に申し入れました。同年6月都議会で清水ひで子都議は「中・高濃度の汚染物質を含んだ土壌が液状化した」と指摘し、全面的な調査を行うよう迫りました。

も、「安全・安心」だと偽りの説明をしてきました。共産党は、豊洲への移転は「食の安全・安心」が命綱の生鮮食料品を扱う市場

には不適合だと主張。現地調査や情報開示請求などを行い、日本環境学会や市民団体と連携して告発し、移転を推進してきた石原、猪瀬直樹、舛添要一の3代の知事に移転計画の中止を迫ってきました。

築地市場を豊洲に移転する答申を決めた01年の都卸売市場審議会では、共産党は土壌汚染の深刻な実態を指摘し、答申案に反対しました（自民・公明委員などは賛成）。

07年2月の都議会で曾根はじめ都議は「豊洲は埋め立て地で、地震の際の液状化や、地盤が横に数メートル移動する側方流動の危険がある」と指摘。地中の汚染物質が地表面上がってくる

（つづく）